

上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画(案)に関する意見及び回答案(一部抜粋)

◇意見募集期間 令和3年12月24日(金)～令和4年1月24日(月)

◇伊奈町意見応募結果 応募者数10名 意見数10件、上尾市意見応募結果 応募者数8名 意見数27件

◎伊奈町町民コメント一部抜粋

No.	ページ	該当箇所	意見の趣旨	町の考え方
1	15	表1分別体制の統一案	生ゴミよりもプラスチックの方が多くるので、プラスチックの日を増やして欲しい。出来るなら、プラスチックは燃やせるゴミとして生ゴミと一緒にしてほしい。	当計画でお示したとおり、各ごみの収集回数につきましては、住民サービスや、処理工程にも関わることから、今後決定する処理方法に基づき決定していきます。
2	15	表1分別体制の統一案	プラゴミが週に1回しか回収がないのがつらい。燃えるゴミとプラゴミをひとつにまとめられるようにしてほしい。	また、プラスチックにつきましては、令和4年4月施行予定のプラスチック資源循環促進法に基づき、引き続き分別して回収する予定です。
3	15	表1分別体制の統一案	両市町域内の「竹、わら、草本類」や「木や枝」を「可燃物」または「資源物」として明確に定義し、積極適に受入れるように要望する。	詳細な分別につきましては、処理工程にも関わることから、引き続き両市町で検討を重ねてまいります。
4	18	4)まとめ	まとめでは最後にプラスチック資源については柔軟に対応していくとあるが、プラスチックはもちろんのこと、プラスチック以外でも柔軟に対応するというような文言にしてほしい。 ゴミ処理の有料化についてポイ捨て、投棄が心配である。そのため、有料化の話を進める際には、罰則、環境教育もセットで進めてほしい。	令和4年4月施行予定の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に関連して、「プラスチック資源については柔軟に対応していく」ということで表記を現在のままといたしますが、その他の詳細な分別につきましては、処理工程に関わることから引き続き両市町で検討を重ねてまいります。 ごみ処理の有料化については、引き続き両市町で検討してまいります。
5	19	2)広報及び啓発手法について	ラインのbotサービスでゴミの収集日やどのゴミの日に出すべきか問い合わせできるようにしてほしい	ごみの分別方法、回収日の周知につきましては、アプリやLINEサービスの利用等各種手法の導入を検討してまいります。

◎上尾市パブリックコメント一部抜粋

No.	ページ	該当箇所	意見の趣旨	市の考え方
3	15	表1分別体制の統一案	近隣自治体と比較して過度な分別への負担が生じないようにしてもらいたい。	詳細なごみの分別案につきましては、施設の整備内容や処理工程に関わるため、施設整備基本計画の策定の際に、環境面や市民負担など総合的に検討してまいります。
1	20	4. ごみ処理の有料化について	ごみの有料化について何を意図して記述されているのか不明です。ゴミの減量化を実現したいために市民に問題意識を持ってもらうためにこの項を設けられたものであれば理解します。しかし、広域化に合わせて実施するために設けられたものであるとすればどさくさ紛れの感が否めません。有料化を提起するのであれば別途市民に提起すべきと考えます。	当計画のごみ処理の有料化の検討については、ごみ処理の有料化の制度概要や他市町村の動向などを確認するものとしております。具体的な協議の際は、ご意見のとおり別途市民に問題提起していきたいと考えます。
2	-	全体	ごみ処理方法についてプラスチック製容器包装等は圧縮過程で人体に影響を及ぼす多くの化学物質が発生することが確認されているためその処理方法を慎重に検討していく。	当該項目でいうごみ処理方式とは、炉の方式や熱利用などを表記しており、プラスチック製容器包装等の圧縮など具体的な工程についての表記は適さないと考えます。また、ごみ処理場において、プラスチック製容器包装等の圧縮の際に人体影響に及ぼす化学物質が発生する事例を把握しておりません。
4	-	全体	プラスチックゴミについては、国の新しい基準がどのようになるのかわかりませんが、これまで途上国に運んだり、海洋汚染が深刻になっています。また、化学物質過敏症により命の危険に晒されている方もおられます。市民へ分別やリサイクル、リユースへの協力をお願いすることはもちろんのこと、なるべくプラスチック製品は買わないよう啓発してほしいと思います。	引き続き、国の新しい基準や制度に注視しながら事業推進を図るとともに、プラスチックごみ削減の啓発を進めてまいります。
5	-	全体	当該ごみ処理施設でプラスチックの圧縮は行わないよう強く要望するとともに、社会全体から見てプラスチックのリサイクルは行うべきではないことを強調して申し上げる。 消費者が出すプラスチックごみの減量と、企業に健康被害や環境汚染を引き起こさないプラスチック製造を求めていくことが重要であり、上尾市に率先して努めるよう要望する。	プラスチックごみの処理工程については、先事例などを参考に安全性や効率面など様々な視点から検討してまいります。 また、プラスチック製品の安全基準については、国の基準によるもので市独自の基準設定は難しいと考えますが、引き続きごみ減量は推進していきます。